

ユーラシア大陸の中央部には草原地帯が続いており、草と水を追って季節ごとに一定地域を移動する遊牧が営まれてきました。草原地帯の東部で最初に強大な遊牧政権を確立したのが匈奴です。近年の発掘調査の成果をお伝えします。



草原の帝国、匈奴： 近年の発掘調査とその成果にもとづいて

2024.09.14 sat.
10:30 ~ 12:00

大谷 育恵

京都大学白眉センター(人文科学研究所)

Lecture series

- 研究の最先端 -

no.162

レクチャーシリーズでは、様々な分野で活躍する研究者にご講演いただいています。

2024年度は、3名の先生方に研究の面白さや可能性についてお話を伺います。

一緒に研究の世界へ。中高生も大歓迎です。



アクセス
京阪電車「出町柳駅」より徒歩約15分。
市バス停留所「百万遍」より徒歩約2分。
※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

最近、匈奴帝国建国2200年記念として出版された図録を翻訳しました。モンゴル高原では2000年以降、数多くの発掘調査が行われ、毎年新たな発見が続いています。京大調査隊の成果も含めてお話しいたします。

<会場>

ミュージラボ(総合博物館1階 自然史展示室内)

<申し込み>

不要です。直接博物館へお越しください。

※ 満席の場合はご参加いただけないことがありますのでご了承ください

<参加費>

無料です。(ただし入館の際に博物館の観覧料が必要です。)



<お問い合わせ>

京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

tel 075-753-3272 E-mail info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp

URL <https://www.museum.kyoto-u.ac.jp>

画像左：匈奴住居址の調査(ハンドガイト城址)
画像右上：ハンドガイト城址の調査風景
画像右下：匈奴墓の調査(オラーン・ボラク墓地)

